

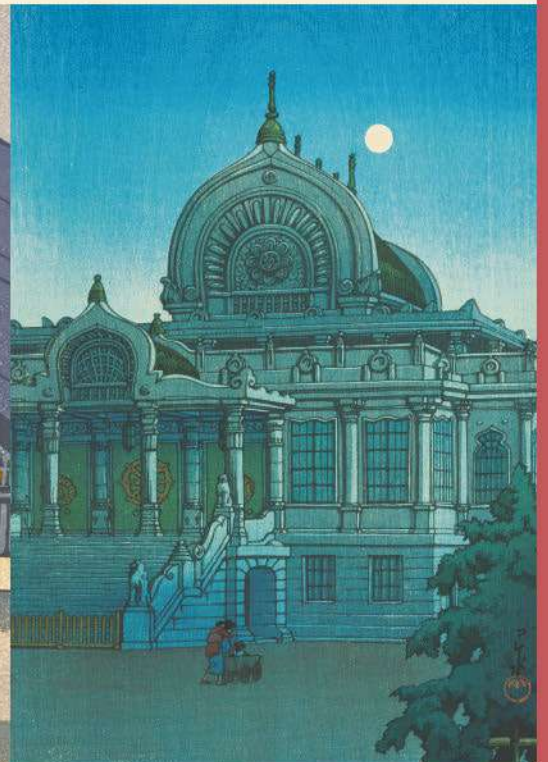
昭和館特別企画展

版画家が刻んだ 昭和の彩り

—館蔵版画集を中心に—



「第一景 永代と清洲橋」(『昭和大東京百図絵』) 小泉癸巳男 昭和3年(1928)



「築地本願寺之夕月」(『新東京百景』)
川瀬巴水 昭和11年(1936)

2025年

3月15日(土)~5月11日(日)

前期:3月15日(土)~4月13日(日) 後期:4月15日(火)~5月11日(日)

※前期と後期で、一部展示資料の入れ替えを行います

10:00▶17:30 (入館は17:00まで)

会場 昭和館3階特別企画展会場

休館日 月曜日(4月28日・5月5日は開館、5月7日は休館)

後援 千代田区、千代田区教育委員会

無入
料場



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575

✕@showakankudan
f showakankudan

版画家が刻んだ昭和の彩り

—館蔵版画集を中心に—

ごあいさつ

昭和館には、昭和の情景をテーマとする版画集など、約600点の木版画が所蔵されています。

所蔵品には、関東大震災から復興した街並みを複数人の版画家が描いた『新東京百景』や、空襲被害を受けた大阪の都市を回顧するため赤松麟作によって制作された『大阪三十六景』などが含まれ、急速な変化を遂げた昭和の街並みや人びとの生活が描かれています。

本企画展では、当館が所蔵する版画集に焦点を当てて、版画家たちが木版画に刻んだ昭和の情景を紹介します。



肉筆画「第三編 千人針」(『支那事变版画』)
井川洗屋 昭和12年(1937)頃

展示構成

●プロローグ 木版画前史

I. 近代化の風景を刻む

『新東京百景』『昭和大東京百図絵』など

II. 木版画による報国活動と版画集の制作

『支那事变版画』『新日本百景』など

III. 戦前への回顧と

版画家たちの戦後復興

『東京回顧図会』『大阪三十六景』

イベント情報

●展示解説

担当者による展示解説を行います。

期日：3月30日(日)、4月20日(日)

時間：14:30～

(所要時間 約30分)

場所：3階特別企画展会場

●ワークショップ

「スチレンボードで版画作り」

期日：3月23日(日)、4月27日(日)

時間：13:00～16:00

場所：3階会議室



昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
7・6階には常設展示室(高校生以上有料)があります。

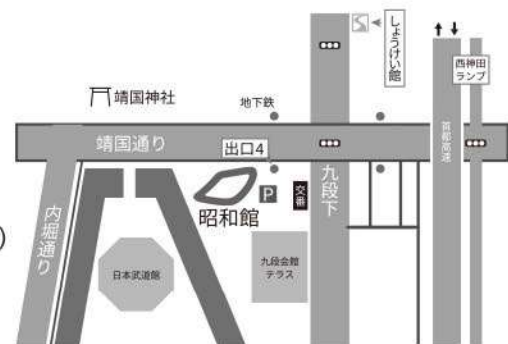
アクセス

●電車をご利用の場合

地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線 出口4)
JR飯田橋駅から徒歩約10分

●車をご利用の場合

首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)
有料駐車場(30分200円・普通乗用車のみ)



お問い合わせ先：昭和館学芸部 TEL 03-3222-2577